

「英語」（自己紹介をしよう）学習指導案

1. 日時 令和7年12月17日（水） 第6時限（13:55～14:35）

2. 場所 高等部 教室

3. 学部・学年・組 高等部

4. 単元（題材）名 「英語で自己紹介をしよう」

5. 単元（題材）目標

- ・自分の名前や紹介したいことを英語で書くことができる（知・技）
- ・基本的な表現の単語を使い、自己紹介できる（思・判・表）
- ・友だちの自己紹介を聞こうとしている（主）
- ・英語でコミュニケーションを図ろうとしている（主）

6. 生徒観

本学年は、学習課題に応じてA～C班の3つの班で構成している。本時の対象であるC班は、特別支援学校学習指導要領における発達段階が中学部段階である。真面目に取り組む生徒が多いが、表現方法として積極的に自分から発信できる生徒、教師からの働きかけにより自分の意思を表出できる生徒、また自分からの発信は少ないが意思をジェスチャーやうなずきなどで伝えることができる生徒など、生徒によって自己発信の力はさまざまである。集中力が続かず、自分のしたいことを机上で始めてしまう生徒や、教師が話をしている途中で質問をはさむ生徒もいる。情緒面で不安定な生徒も多く、授業に能動的に参加することが困難になることがある。その場合、情緒の安定を図りながら、見守ることで落ち着いていくことが多い。授業にかかわる教師間で生徒たちの様子について密に情報共有し、それぞれの課題に応じて支援を行っている。

英語についての学習では、4月の頃は外国語で表現することの恥ずかしさから発声することが難しい生徒がほとんどであったが、習慣的に取り組むことで11月には英語でも簡単な挨拶ができるようになった。挨拶の中に語彙を増やし会話できるようになったことで、コミュニケーションが取れていることを感じられるようになってきた。

7. 教材観

学習指導要領の目標第一段階（ア）「実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。」に基づき、自己紹介を覚えることから、コミュニケーションのきっかけを作ることができるため、「自己紹介（自分の名前を言う）」を教材に選んだ。外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでもらうために挨拶や自己紹介、好きなものや得意なことなどについてタブレットで調べ、実際に書くことを練習した。また、声を出しコミュニケーションを図る練習などに取り組んできた。

本時では、学習指導要領の内容（ウ）「言語活動及び言語の働きに関する事項」（イ）話すこと（発表）「簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて自己紹介をする活動」として、自己紹介をする。自己紹介をすることで、日常のコミュニケーションに生きていくことを知り、さらに外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養うことが期待される。

8. 指導観

授業内では、生徒自身が「呼んでほしいニックネーム」を自分たちで考え、ニックネームで呼びあっている。英語圏では親しくなった人同士がニックネームで呼び合う文化がある。英語の授業では、外国人のようにニックネームを使うことで心理的距離が近くなり、コミュニケーションが円滑になるよう取り組んでいる。また、外国文化に興味や関心を持てるきっかけ作りをしている。

授業では、外国語を用いた体験的な活動を通して基本的な表現に慣れ親しんでもらうため、挨拶や今日の気分などを英語で行っている。音声でのやり取りが難しい場合においても、普段行っているようなその生徒独自の挨拶の仕方ですべて「話すこと」の一つとして捉えている。一人ひとりが少しでもできることを増やせるように支援している。今後の授業では、英語で挨拶することが定着することで、生徒同士で挨拶しあうなど、外国語を通して他者とのコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を高めていきたい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①簡単な挨拶が発音できる。 ②自分の名前を言うことができる。 ③自分の名前を英語で書くことができる。	① 自分の気持ちを伝える。 ② 自分の伝えたい英語を調べる。 ③ 自分のニックネームが呼ばれた時に返事をする。	① 英語で他者に自己紹介しようとしている。 ② 友達の自己紹介を聞こうとしている。 ③ 英語でコミュニケーションを図ろうとしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全 13 時間、本時は第 13 時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
第一次	①	・簡単な挨拶をする。 ・自分の名前を書く。	・Hello などの挨拶をする。 ・自分の名前をローマ字で書いてみる。	・お手本を用意してお手本を見ながら練習する。 ・声を出して音声を真似て声に出す。	A①③ C③ B②
	②				
	③				
第二次	④	・英語で自分の名前を言う。 ・自分の好きなものを英語で表現する。 ・自己紹介の仕方をまとめる。	・名前の言い方を学ぶ。 ・「I'm ○○○」と自己紹介する。 ・自分の好きなものや好きなことを英単語で調べる。 ・名前や好きなことなどの英語を書く練習をする。 ・自己紹介の仕方を英語で書く。	・パワーポイントとプリントを使用し、視覚、聴覚の両方から、練習できるようにする。 ・タブレットを使用した調べ方を教師がやって見せて、タブレットで調べられるようにする。 ・読めない英語はルビを打つように促す。	A②③ B①② C①
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				

第三次	⑩	・自己紹介の練習をする。	・名前、好きなこと、伝えたいことを紙に書く。 ・紙を読みながら自己紹介の練習をする。	・お手本を見ながら、自分のことを書けるように指導する。	A①② B① C①②③
	⑪ ⑫				
	⑬	【本時】 ・他者の前で自己紹介をする。	・他者に向かって自己紹介の練習をする。	・読むことが詰まる場合は、滑らかに読めるように、教師と一緒に読む練習をする。	

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・英語を1語以上話すことができる。
- ・人前にでて自己紹介できる。
- ・友だちの自己紹介を聞く。

(2) 本時の評価規準

- ・英語の音声を真似て声を出そうとしている。A① B①
- ・自己紹介をしようとしている。A①② B① C①③
- ・友だちの自己紹介を聞こうとしている。C②③

(3) 本時で扱う教材・教具

ホワイトボード、スライド、テレビ、PC、画用紙

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
10分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・はじまりのあいさつ ・今日の気分 ・授業内容の説明 ・目標の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじまりの挨拶の仕方や今日の気分の伝え方などを画面にだし、生徒が確認できるようにする。 ・話すことが難しい生徒には、言葉かけをしてできる範囲で表現できるように支援する。 ・見通しが立って安心して授業に参加できるようパワーポイントを使用し、視覚的に確認できるようにする。 	A① B①③ C③

<p>25分</p> <p>展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の仕方の復習 ・ひとりずつ自己紹介をする (紹介カードをもってみんなの前に立つ) ・自己紹介の内容についての質問をする ・立候補者数名は見に来てくれた人の前に立ち、一対一で自己紹介する 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使用し、視覚的に確認できるようにする。 ・自己紹介が詰まった場合に、思い出せるよう事前に自己紹介プリントを作って確認できるようにする。 ・途中で発表をすることが難しくなった場合、やめてもいいことを伝える。(T1・T2) ・少しでも頑張ったことをほめる。 	<p>B②③</p> <p>A①②</p> <p>B①③</p> <p>C①②③</p>
<p>5分</p> <p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の振り返り ・今後の予定 ・終わりの挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できたかを確認し、良かったところを伝える。 ・今後の授業内容を説明し、見通しが立てるようにする。 ・終わりの挨拶の仕方を画面にだし、生徒が確認できるようにする。 	<p>A①</p> <p>B①</p> <p>C③</p>